
第 26 回 犬山シンポジウム

プログラム

『B型、C型肝炎治療における新たな問題点』

日 時: 2007年8月2日(木)13:00~3日(金)12:00

場 所: 名鉄犬山ホテル「シャトー」
犬山市犬山北古券 107-1
TEL:0568-61-2211 FAX:0568-62-5750

共 催:財団法人ウイルス肝炎研究財団
エーザイ株式会社

第1日目 2007年8月2日(木)

13:00~13:10

開会の挨拶 : 谷川 久一
—今回の主題について—

13:10~13:30

調査報告 : 林 紀夫
—本邦におけるC型肝炎治療の現状—

13:30~14:50

(各演題に記した時間は質疑を含まない発表時間になります)

セッション1 HCV —ウイルスの変異と治療—

司会: 小俣政男

<一般演題>

1. インtron・リバビリン併用療法における6MU、10MUの randomized control trialと治療効果に及ぼすウイルス変異の検討
茶山一彰(広島大学医歯学薬学総合研究科分子病態制御内科学) 10min
2. C型肝炎ウイルス(HCV)の組換え遺伝子型の意義
溝上雅史(名古屋市立大学大学院医学研究科臨床情報医学) 10min
3. ペグインターフェロン・リバビリン併用療法治療効果を規定するHCVゲノム領域の検索
榎本信幸(山梨大学医学部・第一内科) 10min
4. C型慢性肝炎におけるNS5A・5B遺伝子変異とリバビリン併用治療効果の関連
泉 並木(日本赤十字社東京都支部武蔵野赤十字病院 消化器科) 10min

—総合討論—

<Coffee Break>

15:00~17:00

(各演題に記した時間は質疑を含まない発表時間になります)

セッション2 HCV —高齢者(65歳以上)への治療—

司会: 清澤研道

<イントロダクション>

- C型慢性肝炎、高齢者の特徴と問題点
清澤研道(長野赤十字病院) 3min

<一般演題>

1. 高齢者(65歳以上)のC型慢性肝炎患者における抗ウイルス治療効果について
恩地森一(愛媛大学医学部第三内科) 10min
2. 高齢者におけるPEG IFN/ribavirin療法の検討
佐々木 裕(熊本大学大学院医学薬学研究部消化器内科学) 10min
3. 高齢(65歳以上)のC型慢性肝炎患者におけるPEG IFN・リバビリン併用療法の検討
佐田通夫(久留米大学医学部第二内科) 10min

4. 高齢者C型慢性肝炎に対する PEG-IFN、RBV 併用治療の有効性とその背景因子
横須賀收(千葉大学大学院医学研究院腫瘍内科学) 10min
5. 高齢者への PEG-IFN/Riba 併用療法の効果
豊田成司(札幌厚生病院) 10min
6. 高齢者への 1 型高ウイルス量 C 型慢性肝炎に対するペグインターフェロン α 2b・リバビリン
(PEG-IFN/RBV)併用療法(KULDS 結果)について
野村秀幸(国家公務員共済組合連合会新小倉病院肝臓病センター) 10min

— 総合討論 —

< Coffee Break >

17:10～19:00 (各演題に記した時間は質疑を含まない発表時間になります)

セッション3 HCV —肝硬変への治療—

司会: 沖田 極

< イントロダクション >

肝硬変への治療 沖田 極 3min

< 主題演題 >

1. C 型肝硬変の病理-B 型肝硬変との対比において
神代正道(久留米大学病理学名誉教授) 15min
2. C 型肝炎と肝線維化-B 型肝炎との対比において
河田則文(大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学) 15min

< 一般演題 >

1. C 型肝硬変と抗ウイルス療法
八橋 弘(独立行政法人国立病院機構長崎医療センター) 10min
2. C 型肝硬変と抗ウイルス療法
池田健次(虎の門病院肝臓科) 10min
3. C 型肝硬変と抗ウイルス療法
山田剛太郎(川崎医科大学附属川崎病院 肝臓・消化器病センター) 10min

— 総合討論 —

19:00～19:10

40 周年記念表彰 : 故 市田 文弘先生、市田 静枝夫人
エーザイ株式会社

< 写真撮影 写真室 >

< 情報交換会 2F 彩雲 19:30～21:00 >

第2日目 2007年8月3日(金)

8:30~9:50 (各演題に記した時間は質疑を含まない発表時間になります)

セッション4 HCV -ALT 正常者への治療-

司会: 岡上 武

< 主題演題 >

1. 血清 ALT 正常 C 型肝炎への抗ウイルス療法
岡上 武(大阪府済生会 吹田病院) 15min

< 一般演題 >

1. ALT 正常 C 型肝炎の治療適応とその治療成績
熊田 卓(大垣市民病院 消化器科) 10min
2. 血清 ALT 持続正常 C 型慢性肝炎に対するペグインターフェロン α -2b・リバビリン併用療法の検討
藤山重俊(NTT西日本九州病院) 10min
3. ALT 正常値を呈する HCV 陽性例に対する抗ウイルス療法-組織所見と、抗ウイルス効果-
市田隆文(順天堂大学医学部附属静岡病院消化器内科) 10min

- 総合討論 -

< Coffee Break >

10:00~11:50 (各演題に記した時間は質疑を含まない発表時間になります)

セッション5 HBV -ウイルスの変異、新しい核酸アナログ製剤による治療-

司会: 熊田博光

< 主題演題 >

1. 新しい核酸アナログ製剤による治療
熊田博光(虎の門病院肝臓科) 15min

< 一般演題 >

1. X promoter 領域および X 領域の塩基配列の経時的変化と HCC 合併との関連性
日野邦彦(デルタクリニック) 10min
2. 核酸アナログによる B 型慢性肝炎の治療と耐性変異株
茶山一彰(広島大学医歯学薬学総合研究科分子病態制御内科学) 10min
3. B 型肝炎疾患に対するエンテカビルの投与適応と初期治療効果
加藤道夫(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター消化器科) 10min
4. B 型肝炎ウイルスポリメラーゼ領域の変異と核酸アナログ製剤の感受性に関する検討
横須賀收(千葉大学大学院医学研究院腫瘍内科学) 10min
5. Entecavir 未使用時にその耐性変異である T184S が出現した B 型慢性肝疾患に対する Tenofovir を用いた抗ウイルス療法
持田 智(埼玉医科大学 消化器・肝臓内科) 10min

- 総合討論 -

11:50~12:00

閉会の挨拶 一次回日程・テーマ、諸連絡

沖田 極